

主要事業評価シート(第1次実施計画/H29・30・31年度)

① 基本事項	計画コード	事業名	部名	教育委員会事務局
	17068	川崎小学校改築事業	課名	教育総務課 施設・保健給食G
	施策の大綱	04:子育てと子どもの成長を支える環境の充実	財	会計
	基本施策	01:子どもたちの豊かな学びと成長	務	款
	施策の方向	02:学びの環境の充実	科	項
戦略プロジェクト	-	目	目	01:学校管理費
事業予定期間		H 29 ~ H 30 年度	主な根拠法令要綱等	

② 目的・概要	対象	川崎小学校児童及び教職員
	目的	川崎小学校については、近年、校区内児童数が増加傾向にあり、平成28年度以降に深刻な教室不足となる状況である。また、校舎についても、避難経路が1方向しかない、多くの段差が存在するなど、安全管理面やバリアフリー面からの課題も多い状況である。本事業の実施により、このような課題を抜本的に解消し、児童の学習及び生活環境の向上を図る。
概要	平成25年度に策定した「川崎小学校校舎改築基本計画」に基づき、学校関係者の意見を踏まえ策定した基本設計により、校舎及びプールの改築を行う。また、空調機については、管理諸室等のほか、全普通教室に設置する。なお、工事は平成28年度に1期工事が完了することから、平成29・30年度で残りの2期工事を完了するものである。	

		平成29年度	平成30年度	平成31年度	
③ 事業の計画・実績	年度計画	<ul style="list-style-type: none"> 既設校舎解体工事 校舎(中棟)建設工事(2期) 各工事監理業務 	<ul style="list-style-type: none"> 校舎(中棟)建設工事(2期) 外構整備工事(一部) グラウンド整備工事 各工事監理業務 		
	年度実績	<ul style="list-style-type: none"> 既設校舎解体工事 校舎(中棟)建設工事(2期) 各工事監理業務 			
事業費	計画額	事業費	844,700千円	312,400千円	
		国庫支出金		11,400千円	
		県支出金		0千円	
		地方債	626,400千円	172,300千円	
		その他			
	予算額	事業費	844,616千円	312,400千円	
		国庫支出金			
		県支出金		11,407千円	
		地方債	626,400千円	172,300千円	
		その他			
	決算額	事業費 ①	324,899千円		
		国庫支出金			
		県支出金	2,898千円		
		地方債	300,200千円		
		その他			
人件費	一般財源	218,300千円	128,700千円	0千円	
	総人件費 ②	12,519千円			
	一般職員	11,519千円			
	所要人員	1.50			
	臨時職員等	1,000千円			
総コスト(①+②)		337,418千円			
受益者負担率		0.0%			

				平成29年度	平成30年度	平成31年度
④ 指標	①	名称	2期建設工事 進捗率	計画値	80	20
			実施済み工事費/2期建設工事費	実績値	30	
				単位	%	%
	②	名称		計画値		
				実績値		
				単位		
	③	名称		計画値		
				実績値		
				単位		

⑤ 事業の改善	前回評価	【前回評価の対応方針の概要を記入】 天候不順などにより工程に遅れが生じ1期工事の完成が1カ月遅れたが、工事関係者間で十分な調整を行った。今後も学校及び工事関係者間で密接な連携を図り、事業全体に影響が出ないよう工事の進捗管理を行う。
	改善行動	【前回評価の対応方針を踏まえ、どのような措置を講じたか】 毎週実施する定期的に工事打合せ会議とともに、必要に応じて適宜、関係者間での協議を実施した。

		評価	(判定)
⑥ 事業の評価	活動	【計画どおりに実施できたか】 解体校舎の一部において、外壁の石綿除去工事が必要となったため、工事請負契約の変更を行った。これについては、石綿を含有する建築用仕上塗材の解体時の取扱い変更に伴うもので、事前に想定することは困難でやむをえないものであった。結果として工程を見直し、工期を2カ月延長することとなった。	B まずまず実施できた
	成果	【成果は順調に上がったか】 年度当初に1期工事を完成させ、2期工事を進めた。工期延長はあったものの、変更後の計画に基づき平成29年度分の事業を完了した。	B まずまず成果を得た

⑦ 今後の対応方針	課題	【課題は何か】 1期工事完成校舎と旧校舎の一部を使用しながら2期工事を進めているため、学校運営への影響を極力減らす必要がある。また、校舎改築工事と並行して別途、グラウンド整備工事を進めることとなるため、工事間の調整も必要になる。	今後の方向性 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 廃止 <input checked="" type="checkbox"/> その他 【その他の場合、その内容を記載】 平成30年度で事業完了
	対応	【課題に対し、どのように対応するか】 直面する課題及び事業完成までの課題を的確に把握し、関係者間による協議・調整を十分に図る。	
	効果	【対応することで、どのような効果が期待できるか】 学校運営や地域への工事の影響を減らすことができる。	
対応時期		平成30年度	

【1次評価者】	教育委員会事務局 教育総務課 施設・保健給食グループリーダー 原田 和伸
【最終評価者】	教育委員会事務局 教育総務課長 原田 和伸